



会報

さくゆう

Sakuyu

No. 170

2023年(令和5年)9月30日

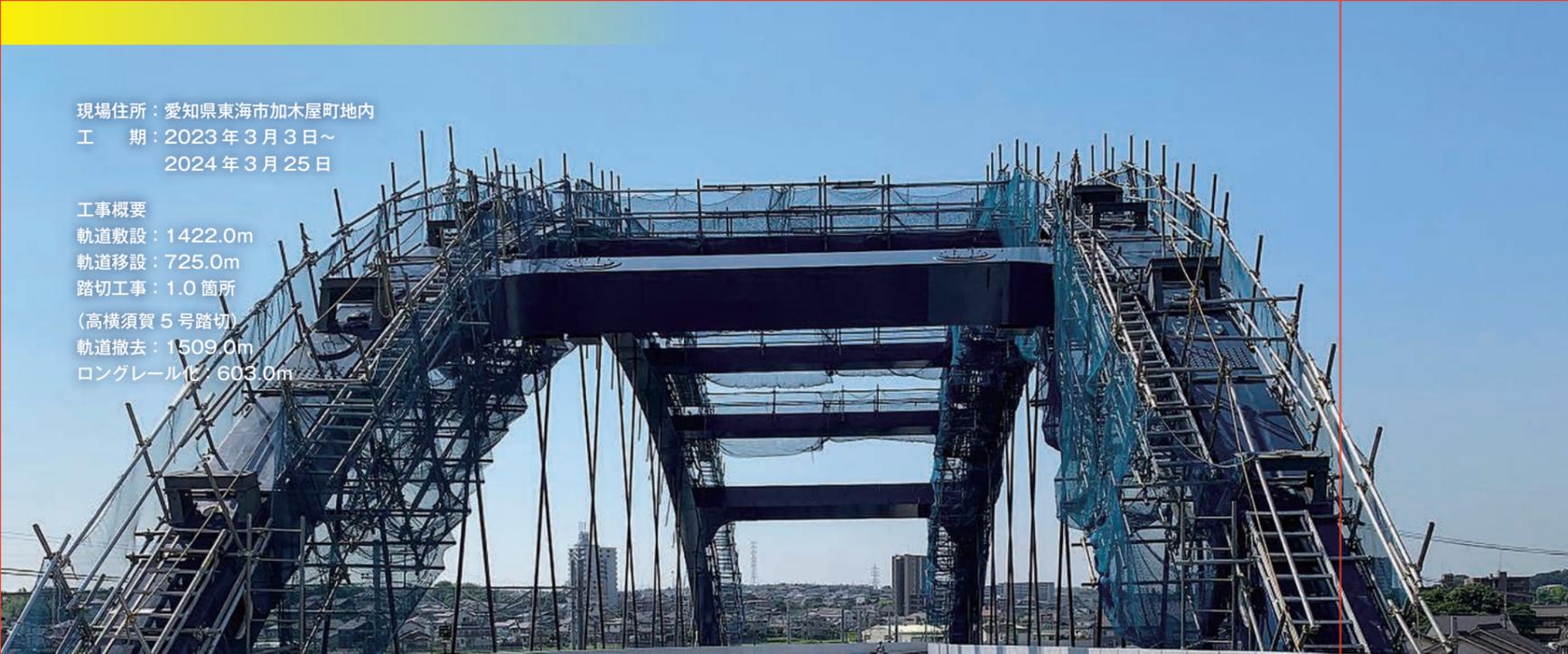
作友会 〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵3-19-7 TEL 052-935-2382 FAX 052-935-2390



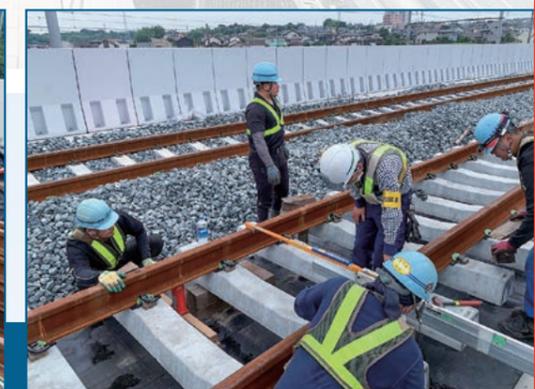
表紙・目次	1	思い出の現場(名北電気工事株式会社)	14-15
工事紹介	2-3	若手技能者インタビュー(三和電気土木工事株式会社)	16-17
安全衛生推進大会	4	グリーンサイト優良企業インタビュー(株式会社ミック)	18-19
優秀表彰	5	作友会活動のあしあと(2023年4月~9月)	20
YAHAGI マイスター紹介	6-9	四コマ漫画	20
THE 神業 一特殊工事密着取材-(株式会社西出組)	10-11	編集後記	20
会員企業訪問(株式会社創羽)	12-13		

現場住所：愛知県東海市加木屋町地内
 工期：2023年3月3日～
 2024年3月25日

工事概要
 軌道敷設：1422.0m
 軌道移設：725.0m
 踏切工事：1.0箇所
 (高横須賀5号踏切)
 軌道撤去：1509.0m
 ロングレール化：603.0m



河和線 高横須賀 南加木屋駅間
 養父森岡線鉄道 交差事業に伴う 本線軌道工事



株式会社岩倉組
 軌道工 施工部長

阿式昭人 さん

● 矢作建設の印象を教えてください。



現場では様々な状況下で、職員さんからの確かな指示、アドバイスをもらっています。作業中は安全に対する意識が高く、いい緊張感を持たせてもらっています。また、作業が終わると、社員全員に気配りもして頂き、温かい会社だと思います。今日も頑張ろうと意欲を持たせてくれる会社です。

● 現場を良くするために、心掛けていることを教えてください。



まず、始発列車が安全に運行できるようにすることを第一に考えます。特に電気施設付近での作業や、軌道用諸車を使用するときは、何度も安全確認するよう指示をし、自分も常に心がけております。作業前から作業終了までの作業員全員の体調や動きを見ることも、心掛けています。



辻工業有限会社
 軌道工

武藤翔弥 さん

● 矢作建設の印象を教えてください。



皆明るく笑顔で対応してくれるので話しやすいです。また、わからない事も丁寧に教えてくれるので安心して作業できます。

● 現場を良くするために、心掛けていることを教えてください。



作業終了後、現場内の点検・道具の整理をし、作業環境を整えるようにしています。矢作建設の職員の方と道具の置き場所や養生の仕方などしっかり打ち合わせして作業するように心掛けています。



土木事業本部
 鉄道本部 鉄道部
 第4工事グループ

竹内 純 さん



土木事業本部
 鉄道本部 鉄道部
 第4工事グループ

市村 徹 さん



土木事業本部
 鉄道本部 鉄道部
 第4工事グループ

西尾友一 さん

● 現場を紹介してください。



この現場はユーモアのある面白い方が多いです。1日1回以上は必ず笑いが起きています。ですが、作業中は集中して仕事を進め、気合いと熱意、そして一切の妥協を許さず、より質の良い線路をつくるぞという気持ちで、当現場一丸となって取り組んでいます。

● 現場で特に力を入れて取り組んでいることを教えてください。



この工事は夜間での踏切工事や線路の切替工事があるので、通行止めや騒音で第三者の方々にご迷惑をおかけすることがあります。近隣の住民の方に対する配慮をして、仕事を進めています。

● 現場を紹介してください。



この事業は東海市が主体となり、都市計画道路養父森岡線の整備に伴う鉄道高架事業に合わせ、新駅の設置及び、駅前広場や公立西知多総合病院へのアクセス通路等の周辺整備を行うものです。本工事は鉄道高架事業として、名鉄河和線の高横須賀駅から南加木屋駅間に本線軌道を敷設し仮線軌道から切替を行います。

● 現場で特に力を入れて取り組んでいることを教えてください。



すでに線路切替の日程が決まっているため、限られた日数の中で現場を完成させなければいけません。競合する作業で仕事が止まらないように、関係者各位と入念に打ち合わせを行い、工程管理に力を入れて取り組んでいます。

● 現場を紹介してください。

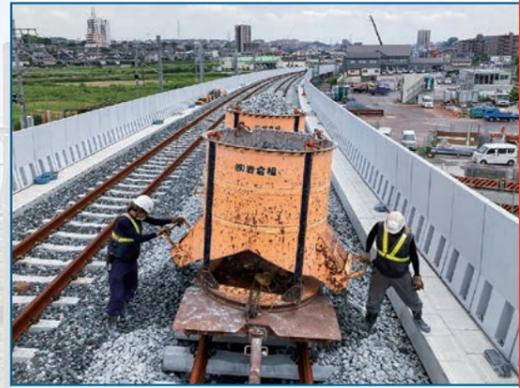


軌道工事とは離れますが、全国的にも鉄道橋では珍しいニールセンローゼ橋や、FRP製高欄が採用されている珍しい現場になります。

● 現場で特に力を入れて取り組んでいることを教えてください。



本工事では工区が太田川駅方と河和駅方の2つに分かれており、私は河和駅方の工区を担当しました。現場は高横須賀5号踏切道に面している他、自動車販売会社が隣接しているため、第三者への交通阻害や粉塵等の発生防止に特に注意しました。



優秀協力会社・優秀職長・YAHAGIマイスター

表彰

※五十音順、敬称略

優秀協力会社

土木事業本部 土木本部
株式会社角藤
株式会社秀栄工務店
大成ロテック株式会社
株式会社田口建設
株式会社 TSM
株式会社西出組
有限会社信澤土木
橋本建設株式会社
有限会社ビレネーエキスパート
株式会社松原興業
株式会社宮本組

土木事業本部 鉄道本部
株式会社新道組
有限会社徳丸興業

建築事業本部 施工本部
株式会社アシスト
株式会社岡本組
海津建設株式会社
衣浦電気工事株式会社
株式会社協和工務店
有限会社小林鉄筋
株式会社沢野商会
株式会社三晃空調
株式会社シンエイライフ
株式会社新生
株式会社立松鉄工
東鐵工業株式会社
橋本建設株式会社
株式会社ハタノ

優秀職長

土木事業本部 土木本部	株式会社松原興業
安藤弘樹	株式会社サン・シールド株式会社
石川真史	三島建設株式会社
今村真悟	有限会社信澤土木
奥村 輝	株式会社TSM
木村海渡	有限会社ノムラ緑化
角 裕太	ヒロセ株式会社
鷺見幸弘	SMCテック株式会社
中尾浩教	東亜道路工業株式会社
松岡清志	株式会社道場建設
村井伸行	

建築事業本部 施工本部	安田株式会社
稲熊由久	株式会社岡本工務店
岩城 篤	株式会社創羽
宇都恭平	株式会社協和工務店
加藤慎紀	東洋シャッター株式会社
栗田綱政	株式会社沢野商会
鈴木修太郎	株式会社ハタノ
高木 渉	川北電気工業株式会社
高橋佑哉	不二木材工業株式会社
立木泰男	有限会社サンセラミック
堤 和樹	株式会社岡本組
中野勝彦	株式会社新生
林 義人	東鐵工業株式会社
松澤洋一	佐藤興業株式会社
松原誠治	橋本建設株式会社
山崎悟史	衣浦電気工事株式会社
六井信也	株式会社木村建設
渡邊 勉	

YAHAGIマイスター

岩城 篤	株式会社岡本工務店
大平和博	株式会社ハタノ
木下宗保	橋本建設株式会社
洲崎清次	株式会社協和工務店
塚原清司	株式会社新生

堤 和樹	有限会社サンセラミック
富田浩史	株式会社岡本組
永瀬貴宏	有限会社小林鉄筋
西川克徳	株式会社創羽
松澤洋一	東鐵工業株式会社



安全衛生推進大会開催



6月12日、矢作建設工業株式会社「2023年度 安全衛生推進大会」が開催されました。本年度の大会は、会場（メルパルク名古屋）とオンラインとの併用開催となりました。当社役員、関連会社社長、作友会から362名が参加しました。最初に、中央安全衛生委員長の名和副社長より「開会の言葉」が述べられた後、高柳社長が挨拶に立たれ、「当社においても『重大災害の絶滅』に向け、全社を挙げて、そし

て作友会の皆様と一丸となった取り組みを継続中であり、引き続き危険に対する更なる予防策を講ずるとともに、現場巡視・パトロールにおいては様々な角度から隠れた危険の芽を早期に発見し、可能な限り二重の安全対策、ダブル・セーフティを実践するよう、安全管理の強化を続けていかねばなりません。」と述べられました。この後、来賓として名古屋北労働基準監督署の寺部署長がご挨拶されました。続いて、表彰式が行われ、優秀協力会社27社、優秀職長29名の表彰とYAHAGIマイスター10名が認定されました。次に、安全環境活動発表として、安全環境部、コーポレート本部総務部より3件の発表が行われました。次に特別講演が行われ、最後に作友会澤野会長より「閉会の言葉」が述べられ、大会が終了しました。



閉会の挨拶
作友会 澤野会長



開会のことば
矢作建設工業(株) 中央安全衛生委員会
名和委員長



社長挨拶
矢作建設工業(株) 高柳社長

九代目

YAHAGI MASTER 2023

YAHAGI マスター

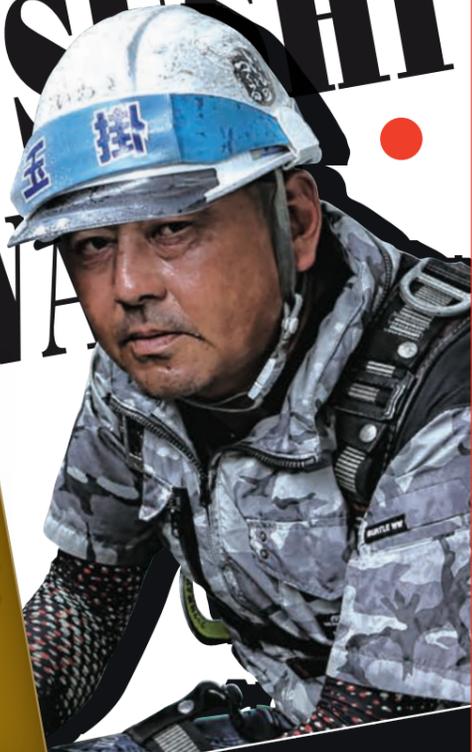
「第9期 YAHAGIマスター」に選出された10名の方々をご紹介します!
「YAHAGIマスター」とは、矢作建設工業株式が認めた高い技術力とリーダーシップを兼ね備えた建設業のプロフェッショナルに与えられる称号です。



株式会社 岡本組
とび工 富田浩史

ATSUSHI IWAHARA

株式会社 岡本工務店
とび工 岩城 篤



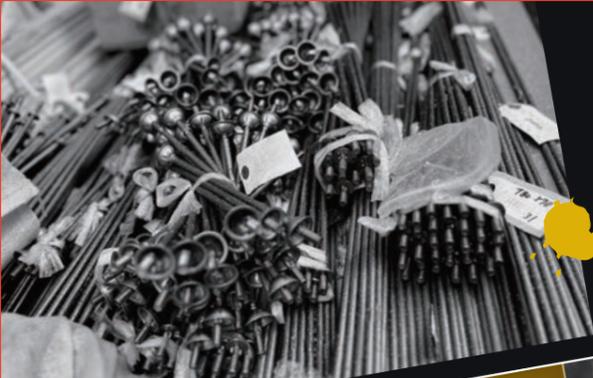
MUNETASU KINOSHITA

橋本建設株式会社
鉄筋工 木下宗保



株式会社 協和工務店
型枠大工 洲崎清次





有限会社 小林鉄筋
鉄骨工 永瀬貴広



株式会社 創羽
型枠大工 西川克徳



東鐵工業株式会社
鉄骨工 松澤洋一



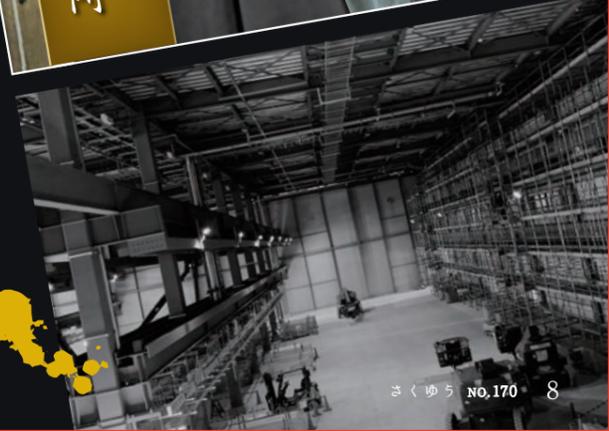
株式会社 新生
内装仕上工 塚原清司



有限会社 サンセラミック
タイル工 堤和樹



株式会社 ハタノ
造作大工 大平和博



THE カミワザ 神業

特殊工事密着取材

今回紹介する「神業」は、矢作建設が開発した切土補強土工法「PAN WALL」です。PAN WALL は、補強土工法の表面工としてプレキャストコンクリート板を使用し、高いところから順番に施工する逆巻き工法で、急こう配施工が可能な工法です。今回は、開発当時から携わってくださっている株式会社西出組の西出社長にお話を聞きました。



軌道工事担当

株式会社西出組 代表取締役

西出隆司さん (経験 43年、内 PAN WALL 20年)



— 長年 PAN WALL 工法をやられてますが

元々は、推進工事や地盤改良工事をやっていました。矢作建設さんと、新たな工法を開発したので手伝ってほしいかと声をかけられました。

開発当時は、なかなかうまく行かないことも多く、利益の出ない工法だと思っていました。最近では、いろいろ改良を加えてやりやすくなり、工事量も増えました。のり面の高さだと 10 段 (12m) 以上のものも施工しました。

— PAN WALL 工法で難しいことはありますか

自然の山を相手にするので、中にはものすごくやりにくいところもあります。地山がいびつで PAN WALL 板の裏に大量の裏込めコンクリートを打設しなければならないこともあります。

— PAN WALL 工法で心がけていることや施工のコツはありますか

やはり見栄えですね。特にカーブの施工は、キャンバーをかましたり目地で調整したりして美しく仕上がるように心がけています。また、PAN WALL 板据え付け時のパールの使い方にもコツがあります。パネルもちゃんと座りたいんだからと、パールで自在に動かすと、カチッとおさまります。

— PAN WALL 工法でのやり甲斐は？

やはり、完成したときですね。日々の業務は、同じことの繰り返しなのですが、その成果として巨大なのり面をつくることができます。二次製品なので見栄えもよく、完成時には達成感がありますね。

事務局から

PAN WALL 工法は、土木工事の中では珍しいロングセラー商品です。

開発から 30 年近くたっても今なお全国で需要が増えているのは、工法の改良開発や現場での工夫・改善といった努力に支えられているのだと思います。建設工事は経験工学と言われる。開発当時から長年にわたって携わってこられた西出さんの経験を生かし、ますますご活躍されることを期待しています。忙しい中、ご協力ありがとうございました。



会員企業 訪問 Report

今回はどんなに複雑で難しい型枠も段取りよく組み立ててくださる株式会社創羽さんをご紹介します。



株式会社 創羽

所在地：尾張旭市庄中町
業種：建築・土木型枠工事一式
代表者：代表取締役 山本篤紀

Pick up!

会社の理念、目指すべきものを教えてください。

平成23年に創業し、今年13年目を迎えております。

1年前に社長に就任し、創業の3つの精神に加え

1. 関係者や仲間へ感謝の気持ちをもつ事
2. 謙虚に皆様の言葉に傾聴する気持ちを持つ事
3. 新しい事に挑戦し続ける向上心をもつ事

という理念を掲げました。

これらを社員や関係会社の人々が常に心がけ、理解し、行動してくれるようにしていくことが大事なことだと思っています。

社内で工夫していることは？

当社の社員は作業もしますが、職長として二次、三次の職人さんたちに指示を出す役割も担います。大きな現場だと当社の職長の下に20〜30人ほどの職人さんを管理するという場合もあります。社員の管理能力向上と管理力の平準化を図るため、1ヶ月に1度全職員が集い、協議会を開催しています。この協議会では「良いこと」も「悪いこと」(反省するこ

と)も遠慮なく話し合うようにしています。この協議会を始めてから約6年になりますが、社員同士のコミュニケーションが良くなりました。社員の意識が変わったことを実感しています。施工の出来にも良い影響を与えているようです。

矢作建設に対する印象は？

所長や次席の方々は勿論ですが、若い職員の方々も協力会社のことを良く考えて頂けている印象があります。我々としては非常に助かりますし、やりやすいです。



自らが誇りとしているところは？

「創業の精神」の一つでもあるのですが、お客様の立場にたって物事を考えることを最優先にしていることです。具体的には、ご依頼に対して簡単に「できない」と言わない。どんなに難しい要求でも、いったん受け止めて「できる方法を考える」ようにしています。お客様と一緒に仕事をできるヒントを与えてくれるのです。何か工夫して、要求に応えられるように心がけています。社員みんながその思いを共有しているところが当社の誇りです。

自らが得意としているところは？

矢作建設・工務部の中野さんから紹介していただいたのですが、「鋼製型枠」を使い始めています。実際に鈴与小牧のRCSの現場で採用しました。従来の木製と比較して精度も高く施工性も良く、仕上がりも高レベルでした。難点と思われた高額のリース料も施工性の良さや仕上りの良さを考慮すると許容できる範囲のものでした。木材に比べて廃棄物も発生しませんのでSDGsにも貢献できているものと自負しております。

今まで印象に残った現場は？

やはり鈴与小牧の現場は印象に残っていますね。鋼製の型枠を採用するというチャレンジができました。そして好結果が得られ、今後に生かす目途が付きました。この挑戦はとても印象に残っていますね。矢作建設さんと仕事してきてよかったです。



苦労されていることは？

建設業界全体に言えることですが、型枠業界への新規入職者がなかなかいないことです。

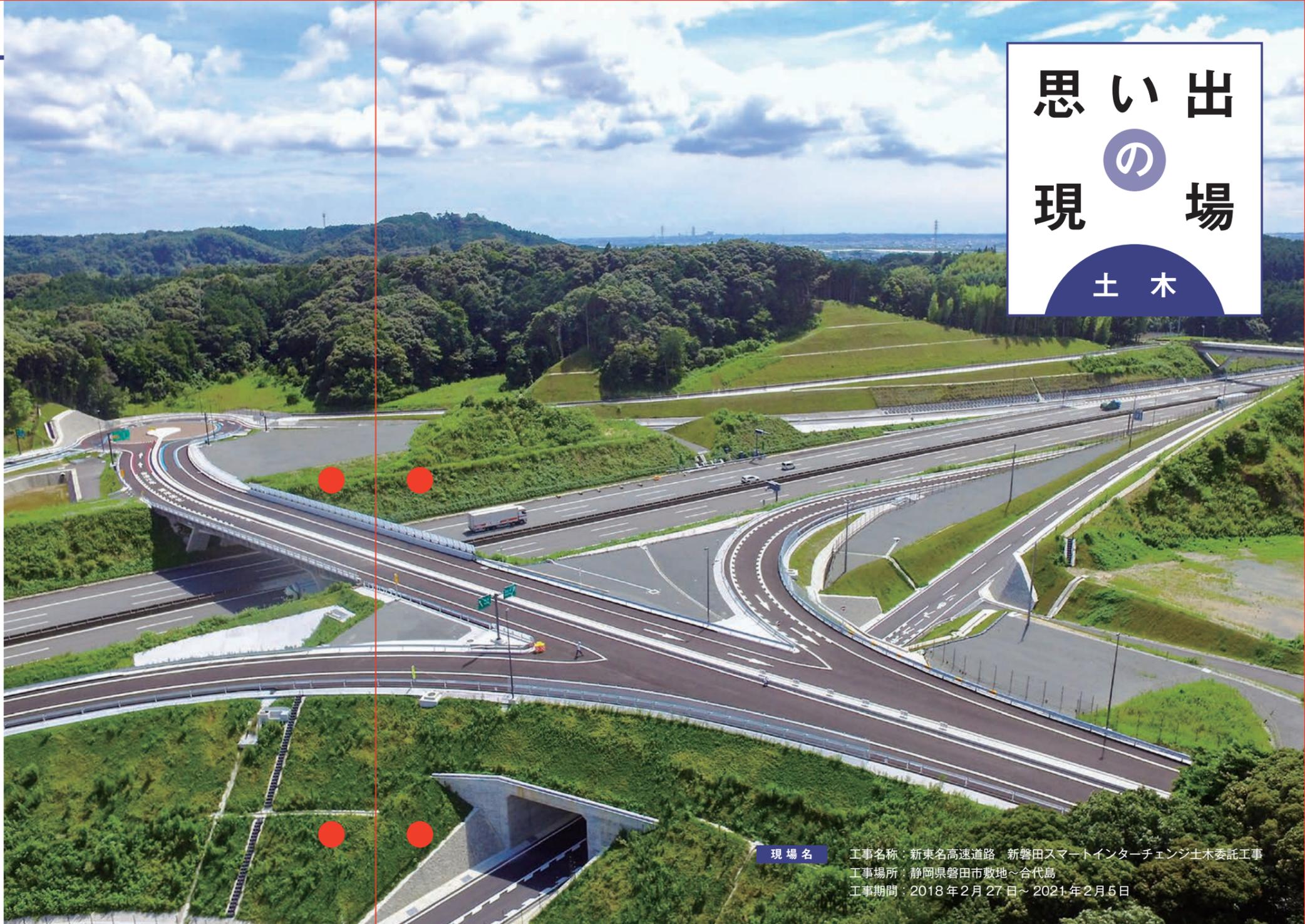
また、型枠工事の宿命なのですが、施工後に不具合があっても自分たちでは何もしないことです。自分達の不具合を他者にゆだねて直してもらうのは歯がゆい気持ちでいっぱいですね。なので、常に精度の高い施工を心掛け、補修の無いように努力しております。



事務局から

優しく温かな山本社長でしたが、取材中は何度も「常にお客様の立場に立って物事を考えています!」と語られており、そのお姿に社長の熱い思いを感じました!入職者不足に頭を悩ませ、型枠工事(建設業)の未来を真剣に考え、日々仕事に邁進される姿に感銘をうけました。

思いの場 土木



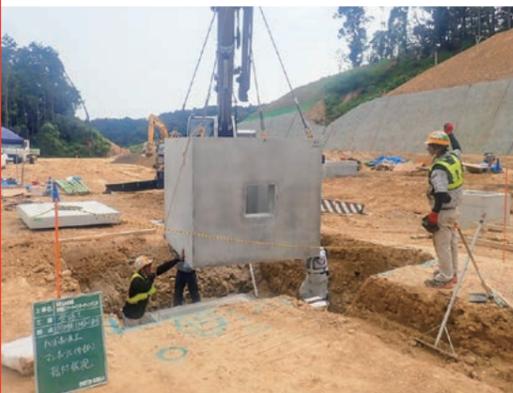
現場名 工事名称：新東名高速道路 新磐田スマートインターチェンジ土木委託工事
 工事場所：静岡県磐田市敷地～代代島
 工事期間：2018年2月27日～2021年2月5日

どのような現場でしたか

スマートインターの新設工事の内、料金所等に電気、通信配線を持って行くためのハンドホール、配管布設工事でした。インターチェンジの入口、出口など複数か所に敷設するため、工程に沿って場所を移動しながら工事を進めていく現場となります。

苦労したこと、失敗談など

経験のない大型ハンドホールを敷設する工事でした。事前に詳細な打合せをしていましたが、度重なる大雨のため路盤が緩み、ハンドホールが工程通り搬入できないため何回も日程変更を



しながらの作業でした。しかし、現場職員の方々と一緒に知恵を出し合いながら、何とか搬入据付ができたときは、心から安堵しました。また、配管の曲げも、油圧機械での施工であったため、当初は曲げ不足や曲げすぎの調整にも苦労しました。

思い出に残っていること、喜び・感動したこと

施工当初から8月の猛暑の炎天下での作業でした。熱中症になる程の暑い日が続く、山影がのびる15時以前までは、はかどらない日が続く、作業も計画の半分しかできないときもありました。しかし全員が「絶対にやりきる」と心をひとつにして、取り掛かってくれたおかげで無事に予定通りに完了させることができ、仲間の底力に感動しました。

施工中によく訪れたお店や場所

現場近くのコンビニによく通いました。暑くてあまり食べられないので、とろろそばとか冷やしうどんばかり食べて



名北電気工事株式会社
 取締役 工務部長

岩田 賢治



いた記憶があります。

たまに余裕があるときは近くの土産物屋に併設の食堂に行ってみました。そこで食べた手作りハンバーグや茶そばが美味しかったです。

当時の矢作建設社員や作友会員（協力会社）に向けてメッセージ

現場の職員や協力会社の方々の協力のおかげで、無事に引き渡しができたことに感謝しています。

この経験を次世代の社員にしっかり継承していきたいと思えます。当時の関係各所の皆様本当にありがとうございました。矢作建設工業の職員の方々、異業種の方々と力を合わせ、協力を仰ぎながら、毎回現場で作品をつくらせて頂いているという気持ちです。これからも社内一丸となつて皆様と共に頑張っていけますので御指導の程よろしくお願い申し上げます。



作業服で帰ってくる両親の姿が
昔からカッコイイとっていました



若手技能者 インタビュー

ませ ちとせ
間瀬 千歳さん

所属：三和電気土木工事株式会社
年齢：21歳（経験年数1年）



— この仕事を始めたきっかけは何ですか？
父が自営業で水道屋を営んでおり、母も父の仕事を手伝っていた環境で育ちました。汚れた作業服で帰ってくる両親の姿が昔からカッコイイと思っていました。高校は普通科でその後やりたい仕事がたくさんありましたが、あまり女性が行っていない電気の仕事ができるという点、専門学校で電気を学びました。その後、就職では今の会社にインターンシップに行き、同じ学校の先輩もいるという点でこの会社に入りました。

— どんなご家族ですか？
父を中心に家の改修をするのが好きな家族で…(笑) 部屋のコンセントを増設したり、ウッドデッキを作ったり、ユニットバスを入れ替えたり…そんなことを普通にやってしまうとちょっと変わった家族です！ GWは家族総出で庭の草むしりをしました。本当は嫌なんですけど、その後の家族でするバーベキューが楽しくて、頑張りました！

— この仕事をしていていいと思うことは何ですか？
たくさんの方の協力会社、大勢の人達が力を合わせて一つの大きな建物をつくっていくところがスゴイと思っています。大勢の人達がそれぞれの仕事の役割を果たし

ているので、それが何だか文化祭の準備をしているみたいで毎日が楽しいです。

— この仕事の苦労ややりがいは何ですか？
何も無かったところからとんとん形になっていく光景を見ると、とても楽しいです。自分で回路チェックをして、悪い箇所は手直しをして、最後に電気が点いた時の喜びは大きいです！！

— 仕事をやる上で大切にしていることは何ですか？
コミュニケーションを大切にしています。会社の上司や先輩はもちろんですが、他の協力会社さんの協力が無いと仕事はできないので、自ら積極的にコミュニケーションを取っています。また以前、私の発注ミスで職人さんに迷惑をかけたことがありましたが、職人さんは文句を言いつつも仕事をきちんと納めてくれたことがありました。ときには失敗もありますが、その分経験を積んで頑張っていきたいと思っています！

— 将来の展望は何ですか？
会社で尊敬している女性の先輩のように、早く一人で現場を任せてもらえるようになりたいです。また今後、CADの勉強をして、普段忙しかけている上司の手伝いが少しでもできるようにしていきたいです！

事務局から

電気工事が大好き！と眼を輝かせながらインタビューに答えてくれた間瀬さん。夏の暑い時期汗もいっぱいかくけれど、全く気になりません！と元気ハツラツな様子。経験年数が1年とは思えない仕事ぶりで、新入社員を育成し、また早く仕事を覚えて上司の力にもなりたいと語る間瀬さん！ その姿はもはや会社の期待の星！ 遅いですが～！

グリーンサイトの担当者が明確

矢作 現在御社はどのような体制でグリーンサイト業務に取り組まれていますか？

前川 協力会社が9社あり、各社の作業員が70名います。協力会社とのやり取りは、期限切れの更新管理を主として私が行っています。現在は部門ごとに担当者を置いており、基礎工事は私で、他にクレーン工事と橋梁工事にそれぞれ担当者を置いています。

2次協力会社とのやり取りを粘り強く行ってきた

矢作 大変だったことは何ですか？

前川 書類集めですね。まずは取り寄せたい書類（証明書・資格証等）はどんな形式でもいいので写真を撮って送ってもらうようにしました。

佐藤 最初はスマートフォンもない時代で、協力会社の作業員に事務所まで来てもらったり、健康診断の時に免許証・資格証を持って来てもらったりしていました。

代行機能を使い1次企業として責任をもって取り組んでいる

矢作 受け取った資格証等のデータはどのように管理していますか？

前川 協力会社ごとのフォルダにまとめて管理しています。

矢作 期限切れ更新の管理など、取りまとめが大変な印象がありますが。

前川 代行で下位企業が固まっていますが、一元がしっかりと管理されている会社との付き合いなのでうまくできています。

当初は顔の見えないやり取りに戸惑った

矢作 当社からのお知らせなども確認いただけていますか？

前川 はい、いつも確認しています。

矢作 各現場のグリーンサイトが終了するまでに、個別に是正を依頼する必要がほとんどありません。しっかりと対応いただいている証拠ですね。

前川 現場のほうに提出、している意識なのに、コメントのやり取りが現場ではなく、安全環境部からくるようになった時は戸惑いました。今はそれにも慣れてきました。

矢作 グリーンサイトの機能は多様なので現場で全部把握しようとすると大変です。そこで役割を分担して内勤（安全環境部等）でも遠隔で確認できるところは行うようにしています。違和感をお持ちになるのはその点かなと思います。

佐藤 すべて現場でやるのではなく本社でバックアップする部署があり、それぞれの重要な業務に集中していくというやり方に変わってきたのだなと思います。

ツールと本質がわかっていればもっとやりやすい

矢作 24年問題もあって、流れとしてはそうなります。グリーンサイトの書類を管理するというのもその一つですね。

佐藤 元請側からすると現場に入場している作業員に関しては、1次会社が書類の中身をチェックして送り出しているものとして認識されています。当社は送り出す側なので、書類をしっかりと整えていくことが大切だと思います。

2023.6.29

第2回

株式会社

ミックさん

グリーンサイト 優良企業インタビュー

今回第2回といたしまして、株式会社ミックのグリーンサイトご担当者様にインタビューをいたしました。同社は、普段から「安全書類の整備」に力を入れられており、各種安全書類もグリーンサイトでスムーズに提出できている現状です。どのような取り組みをされているのかを中心に、これまでの経緯なども含めお話を伺いました。



ゼネコンによってツールが様々 対応力が必要

矢作 他のゼネコンは全部現場から指導がきけますか？

前川 大手ゼネコンも今は現場ではなく事務管理部署からが多いですね。

佐藤 ゼネコンによって使用する安全書類ツールが違うので使い分けることに苦労しました。実際はグリーンサイトの後にビルディなどの他のツールが出てきましたから。

矢作 今は二つだけですか？

前川 主にそうですね。

経営者の立場から安全について厳しく 時には嫌われ者になって

矢作 しっかりとやってくださる会社はいいですが、職長や職人さんが書類整備も兼務していると難しいですね。

前川 社長に直接電話しています。昼間は現場に出ているのでダイレクトに連絡を取るのには難しいです。

佐藤 協力会社にも「自社でできないところは取引できないぞ」と伝えていきます。それでもしないと安全書類の整備はできないと思います。誰かが悪者にならないとい

けないという思いです。当社では私が嫌われ役です。結果担当者がやりやすくなれば良いと思っています。

矢作 協力会社にもしっかりと促進していただいているのですね。ありがとうございます。

佐藤 社会保険の加入が建設業許可証の更新要件になったことで協力会社の安全書類が整うきっかけとなりました。

送り出し教育が大切

前川 送り出し教育もしっかりやっています。

矢作 はい、そのことが下位企業にも伝わっているのですね。いつも登録がスムーズなのです。

前川 矢作建設さんが送り出し教育資料をグリーンサイトに挙げてくれたので、それを見て実施しています。

佐藤 新規の教育は搬入をスムーズにする効果もあります。

矢作 全ては安全への意識ですね。今後とも円滑な書類提出の為にグリーンサイトを活用していきましよう。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。



2023年度上半期(4月～9月)

作友会活動の あしあと



人はなぜ働くのか



作画：ひなたゆうべ

● **第99回理事会**
4月、新型コロナウイルス感染症防止対策に伴い、オンラインにて開催しました。

● **第53回定期総会**
4月、新型コロナウイルス感染症防止対策に伴い、オンラインにて開催しました。

● **鉄道近接作業者講習会**
4月、6月、7月、8月に鉄道技術研修センターにて開催し、延べ245名が参加しました。

● **オンライン安全塾**
4月、5月、6月、7月、8月にオンラインにて開催し、延べ569名が参加しました。

● **安全衛生推進大会**
6月、会場（メルパルク名古屋）とオンラインの併用にて開催し、矢作グループ役員195名、作友会員162名が参加しました。（本誌4ページ参照）

● **第8回土木・鉄道部会（懇親会）**
7月3日に開催し、矢作建設工業株式会社にて土木・鉄道部会会員53名と矢作建設役員43名が参加しました。その後、メルパルク名古屋にて懇親会を開催しました。

● **第52～54回建築部会**
5月、7月、9月に開催し、矢作建設工業株式会社には建築部会役員延べ34名と矢作建設役員延べ165名が参加しました。5月の部会の後には懇親会も開催しました。

● **建築部会安全パトロール**
4月、5月、6月、8月、9月に建築部会員10社と矢作建設職員延べ10名が5現場のパトロールを実施しました。

● **全国安全週間特別パトロール**
7月に作友会員8社と矢作建設役員延べ43名が30現場のパトロールを実施しました。

● **職長・安全衛生責任者教育支援**
5月、6月、8月作友会会員企業の作業員4名が外部団体主催の教育を受講し、会員企業に対し作友会から受講料を補助いたしました。

● **第1回企業内インストラクター養成講座を開催**
矢作建設と作友会員計27名で講師のための講習を行いました。

● **作友会ホームページ**
URLが変更されました。
<https://www.sakuyukai.jp/>



編集後記

作友会の皆様、いつもお世話になっております。事務局の大澤です。

さて、私は仕事で矢作建設の現場に行くことがありますが、そこで新入社員に会う機会があります。彼ら・彼女らを見ているだけでとてもフレッシュな気持ちになります。4月に入社し仕事にも少しずつ慣れてきたところでしょうか。仕事を早く覚えたい!と思いい、必死に努力している姿は本当に爽やかで頼もしいです。私も新入社員の頃のフレッシュな気持ちをいつまでも持ち続け、仕事をしていきたいと感じました。新しいことにチャレンジし、常にワクワク感を持って仕事に挑戦していきたいものです。

また新入社員の中には、なかなか上手く仕事ができずにいる人、失敗ばかりして落ち込んでいる人、人間関係で思い悩んでいる人等々:「悩み」や「失敗」に直面している人もいることでしょう。

しかしこの「悩み」や「失敗」は自己を強くし、成長させてくれる何よりも大切な要素だと思います。特に今の若者世代は回り道や失敗を無駄として恐れる傾向が強いとの指摘もありますが、人は大なり小なり「悩み」があり、「失敗」も経験します。それならば、「悩み」や「失敗」もすべて吸収して前進あるのみ!この気概でいくことに価値があると思います。私も仕事での「悩み」や「失敗」は自己への成長と捉え、さらに前進していきたいと思っております。

(作友会事務局 大澤)

作友会へのご意見・ご要望は、右記メールアドレスまでご連絡ください。 info-sakuyukai@yahagi.co.jp